会 議 録

会議名	令和6年度第3回八戸市学校給食審議会		日時	令和7年2月13日(木) 12:30~13:35
次第	1 開会 2 教育長挨拶 3 会長挨拶 4 案件 (1)八戸市新学校給食センター整備基本計画素案に係る第2回審議会以後の修正について (2)八戸市新学校給食センター整備基本計画(案)について (3)八戸市学校給食基本計画(令和6年改定版)改定について 5 閉会	場所	YSアリーナ八戸 1階大会議室	
出席者	【委員】 金田委員、齋藤委員、川上委員、松舘委員、小池委員、馬場委員、佐々木委員、黒澤委員、石塚委員、古町委員、計10名 【事務局】 齋藤教育長、八木田教育部長、寺井教育部次長、沼上課長、春日学校給食GL、小笠原北地区給食センター所長、金田東地区給食センター所長、尾崎西地区給食センター所長、学校給食グループ員5名 (株)長大(八戸市新学校給食センター整備基本計画策定及びPFI導入可能性調査等業務受託者)2名			
概 要				
進行役	開会に先立ちまして資料の確認をお願いいたします。 事前の資料は、次第、資料1~5、当日配布資料として資料3別紙と事業手法の検討の概要という資料が机上にあります。よろしいでしょうか。 それでは、只今から、令和6年度第3回八戸市学校給食審議会を開催いたします。 本日は、委員全15名のうち10名にご出席いただいておりますので、本市学校給食審議会規則第4条第2項の開会要件を満たしておりますことを、御報告申し上げます。 それでは、教育長より御挨拶申し上げます。			
教育長	(挨拶)			
進行役	続きます、金田裕治会長より御挨拶をお願いいたします。			
会 長	(挨拶)			
進行役	ありがとうございました。 ここで事務局から、傍聴される皆様へお願いがございます。傍聴人は会議で発言出来ないことになっておりますので、ご協力をお願いいたします。 なお、本審議会は公開の会議でありますので、本日の会議録は、後日、市のホームペ			

<p>会 長</p>	<p>ージに掲載されること御承知おき願います。</p> <p>それでは、会長、会議の進行をお願いいたします。</p> <p>それでは、只今から、会議に入ります。</p> <p>案件(1)、報告事項、八戸市新学校給食センター整備基本計画 素案に係る第2回審議会以降の修正について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。この後の整備基本計画（案）の説明に先立ち、前回の会議以降の整備基本計画の素案の修正について御報告申し上げます。資料1を御覧ください。まず、1. 前回の学校給食審議会における指摘事項による修正についてですが、〇〇〇委員から御指摘のあった8ページ図3-1地図上の西白山台小学校の表記を修正しました。また、この作業と合わせて、同地図上の文字や印の位置の調整を5カ所行っております。</p> <p>次に、2. パブリックコメントによる修正についてですが、11月19日開催の学校給食審議会で提示した素案に対するパブリックコメント（意見公募）を令和6年12月2日～12月25日に行いました。結果は、資料2の1件8項目の意見が提出されました。なお、この意見については、御覧のとおり、整備予定地の地元町内会より提出されたもので、整備基本計画の素案に直接係るものではないことから、これによる修正はありません。最後に、その他の修正として、校正作業の中で修正すべき点がありましたので、御覧のとおり字句の修正をしております。また、5と6については、今回の会議の案件部分と関連し事業費及びスケジュールにおいて手法を明記したものでございます。</p> <p>修正については以上ですが、前回の会議で委員にお答えできなかった件に対する対応を御報告いたします。まず、〇〇委員から、素案のパブリックコメント（意見公募）を広く行うにあたり、学校と保護者との連絡アプリであるテトルを活用した保護者への周知について提案がありましたが、担当課とも協議をして、テトルは児童生徒の所属校と家庭との連絡手段であることから、必要な情報が保護者の目に届きやすいよう、情報氾濫防止的な観点を持ちながら運用しており、本件のように児童生徒に直接関わらない事業等については積極的には活用していない実態があるため、本件についても、テトルの活用は見合わせました。なお、保護者への周知としては、周知用チラシを学校にて掲示いたしました。</p> <p>次に、〇〇委員から質問のあった新センターで導入予定の箸の長さについては、メーカーカタログ等で調べたところ、概ね160mm～225mmほどの間で5種類くらいの長さを選べるようです。まだ導入する箸の長さの検討には至っておりませんが、管理のし易さなども勘案し決定することとなります。私からは以上です。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは、次に案件(2)、八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）についてです。これは教育委員会からの諮問事項でございまして、本日、この整備基本計画（案）が適当であるか審議を行い、答申内容をまとめて、教育委員会へ答申書を提出したいと思っておりますので皆様よろしくをお願いいたします。それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、ご審議いただく八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）についての説明にはいります。</p> <p>まず、お配りしております資料3、八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）の</p>

	<p>目次をご覧ください。前回の学校給食審議会では、この1番、整備基本計画の策定にあたりから6番、事業計画までを素案として御説明し、先ほど修正などの報告をいたしました。そして、今回、PFI導入可能性調査の実施により、7番 事業手法、8番 事業範囲、9番 事業手法の評価・選定を計画に追加して記載しております。事業手法とその評価・選定につきましては、全く馴染みのないものと存じますので、私から計画案全体を御説明申し上げる前に、事業手法とは何か？事業手法の検討の目的、新たな事業手法の導入によりどのようなことができるようになるのか、などについて、委員の皆様にお伝えしたいと考えており、本日、株式会社 長大様にお越しいただいております。株式会社 長大様は、今回、当市の新学校給食センターをどのような施設にするのか、どのような事業手法を取り入れるべきかなどを検討することについて、支援をいただいているコンサルタント会社であり、事業手法などの内容について他都市の事例を交えながら20分弱でお話をいただきます。委員の皆様におかれましては、御審議の参考にしていただければと存じます。それでは、株式会社 長大様よろしくお願いたします。なお、スクリーンを使っての説明になりますので、申し訳ございませんが、会長と副会長は、お席の移動をお願いいたします。</p>
(株)長大事務局	(説明)
〇〇委員	これまでの説明に対し御質問等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。
(株)長大	はい。民間の資金の調達ってというのは、こういったところから調達するのですか。
〇〇委員	通常、金融機関です。大手の金融機関の場合もありますし、地元の地銀さんの場合もあります。
(株)長大	地元八戸の企業からの調達ではなく、銀行等からの資金調達という意味合いですか。
〇〇委員	それが一般的です。ですが、銀行に限定されるわけではないので、そこの調達は民間の提案によっていろいろ変わる場合もございます。
事務局	ありがとうございました。
〇〇委員	他に御質問等ございましたらお願いします。
(株)長大	民間というのは1社じゃなくて、複数を指していらっしゃるという認識でよいですか。
〇〇委員	そうです。
(株)長大	「100名程度の調理員」「1日たりとも止められない給食提供」というのは確かに大事な着眼点ですけれども、広島で学校給食事業を停止した事業者さんは方式としてどれでやっていたのか。ああいうことは起こって欲しくないな、ということ言うのですが、そういうリスク経営というかりスクマネジメントはどうなっているのでしょうか。
〇〇委員	広島の事業者さんの例ですが、民設民営です。基本全部民間にお任せする方式です。今回の評価では先ほどの途中で3つ選ばせていただきまして、その前段で、一旦ふるいにかけて、こういう民設民営ですとかリースですとか、あきらかに適さない課題が出たところは対象から落としています。
〇〇委員	あと、これは多分問題解決にならないのですが、ちょっと懸念だけを述べさせていただいて、どうしても予算ありきというようなイメージが日本全体としてあるなと感じています。コスト増になった時にどうしても行政とか国が絡んでくると、その問題って

事務局

食材費、水光熱費の高騰といったところに、すぐ対応しきれないのではないかとこの懸念があるので、そこを御検討いただければと思います。以上です。

ほかに御質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、ここからは、私の方から整備基本計画（案）の全体の内容を説明いたします。今、切り替えをいたしますので、少々お待ちいただければと思います。

引き続きこちらの画面と、同じ内容でお配りしております資料3の別紙、八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）について資料を御覧ください。こちらの資料は八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）の全体の概要をまとめた資料でございます。座って説明させていただきます。まず1番、整備方針です。（1）既存センター統廃合による合理化は、建て替える北と東センターについて今後、児童生徒数の減少を考慮し、2センターを統合したセンターとして整備する方針でございます。（2）学校給食衛生管理基準に適合した施設整備は、汚染・非汚染作業区域の区分、ドライシステムの導入、温度湿度管理など学校給食衛生管理基準に適合した施設として整備する方針です。（3）建設地の確保につきましては、給食継続のため、新たに建設地を取得し、そこへ移転して整備することとし、私有地である美保野小中学校跡地を整備用地として選定いたします。（4）食物アレルギーへの対応は、現在の乳・卵の2品目から小麦を追加した3品目対応にします。（5）安全安心で美味しく楽しい給食のための食器具につきましては、新センターの食器具を西センターと同等として調達することを基本方針とする他、これまで児童生徒が持参してまいりました箸は給食センターから提供をいたします。次に2番、施設計画の検討でございますが、整備方針に基づき、新センターの施設規模を設定するための前提条件をまとめた案でございます。新センターの受配校は原則現在の北と東センターの受配校28校、新センターの供用開始時期は令和11年度上半期、献立数は2献立、食数は令和11年度の市内全体の提供食数が1万4,700食となる見込みでございます。新センターが6,000食で残りの8,700食を西センターが提供するという想定であります。また、学校給食衛生管理基準等を遵守した標準的な諸室を設け、アレルギー対応専用調理室も設置するものでございます。次に3番、新センターの概算事業費の算定条件でございますが、先ほどの施設計画の検討から概算事業費を算出するための新センターの算定条件は、敷地面積が約1万平方メートル、延べ床面積が約3,500平方メートル、施設の構造が鉄骨造2階建てとなり、これを踏まえて、4番の新センターの概算事業費は事業期間を15年間で想定した場合ですが、施設整備費は46.1億円、運営費は43.3億円、維持管理費は24.4億円、合計で113.8億円を想定しております。次に5番、事業範囲です。給食センターの整備運営等は民間の専門的な知識能力や創意工夫による事業費の削減やサービスの向上が期待できるということから、可能な限り民間の業務とすることを検討する必要があります。この観点で検討しました結果、新センターにつきましては、設計、建設、厨房機器、運営業務、維持管理業務を一体で事業範囲することとし、西センターにつきましては、運営業務を事業範囲として含めることといたします。次に6番、事業手法の評価選定の（1）定量的評価でございます。先ほど、長大様から説明がありました事業手法についての評価結果を説明いたします。定量的評価では従来方式

	<p>に比べ DBO 方式および PFI (BTO) 方式の場合に、市の財政負担見込額を削減できるかということを示す VFM を算出したところ、DBO 方式は従来方式に比べ 5.8%削減、PFI (BTO) 方式の民間資金なしは従来方式より 4.5%削減、PFI (BTO) 方式の民間資金ありの場合は従来方式に比べ 3.7%削減となり、いずれの方式でも財政負担削減効果があることが示されました。次に 6 番、事業手法の評価選定の (2) 定性的評価です。定性的評価では事業継続の安定性および財政負担平準化などの面で PFI (BTO) 方式、民間資金ありの優位性を確認しました。これを踏まえ、(3) 選定方式でございますが、本事業は 1 日 6,000 食という大規模な給食の提供を長期にわたり実施する事業であり、SPC の組成によって安定的な事業継続が期待できる PFI (BTO) 方針の方が DBO 方式に比べ優位であるということ、また PFI (BTO) 方式、民間資金なしの場合、施設の整備が完了する時期に市の財政負担が突出してしまうということがございまして、財政負担の平準化が図られる PFI (BTO) 方式、民間資金ありが優位であると考えます。結論として PFI (BTO) 方式、民間資金ありを本事業の事業手法として選定をいたします。以上で、八戸市新学校給食センター整備基本計画 (案) の説明を終わります。会長と副会長におかれましては、前の席にお戻りいただきまして、会議の進行をお願いいたします。</p> <p>会長 ただいまの説明に関して御質問をお受けしますが、スムーズな進行となるようまずは整備基本計画 (案) の内容に関する質疑応答を行います。そして、その後に、当審議会の答申としてこの案を承認するかどうかの多数決をとりたいと思います。さらに、その後にそのほかの意見などを伺い、答申に付け加えたい事項があればとめたいというふうに思っております。それではまず整備基本計画 (案) の内容に関して御質問などございますか。</p> <p>〇〇委員 VFM のところで質問させていただきたいのですが、落札者はまだ決まっていない状態での試算値ということですか。</p> <p>事務局 はいその通りです。VFM については、他の自治体でこれまで同じような手法を用いた自治体の事業者を募集する段階での事業費がどれだけ抑えられるかの VFM を参考に、その平均値により算定しています。</p> <p>〇〇委員 落札者決定前の VFM と後の同じ数値は多分変動があったりすると思うのですが、そこは色々検討されていらっしゃいますか。その上でこの PFI (BTO) 方式の選定ですか。</p> <p>(株)長大 御指摘の通り、落札前と実際に事業者が入札して落札した後の VFM は変わります。今回は落札前のものを参考にして出しています。実際、今回の -4%、-5% となっておりますけれども、実際発注するときは、そこにこの 4% を従来手法から抑えた金額を上限価格として発注をするので、そこをベースにグループ間で競争が働けば、またそこから下がるという事例が多く出ています。ですから落札前の VFM に比べて実際事業者が落札したときの VFM はもう少し数字が上がる、今 -4% ぐらいですけども、競争が働けば -6%、-7% に上がるということもございまして、今回の試算については落札前のものをベースに計算をしているので控えめというか安全な数字で出しています。</p> <p>〇〇委員 承知しました。ありがとうございます。さっきの話に戻るんですけど、そうすると抑</p>
--	---

	<p>えた費用がどこかが事業者の負担みたいになってしまうと思うので、そういったところのサポートもお願いします。</p>
会 長	<p>他に御質問はないでしょうか。私からも一つよろしいでしょうか。今現在、既存の北と東のそれぞれの給食センターは、統廃合するというふうなことですけれども、ちょっと従業員の事を聞きたいんですけれども、新設される給食センターに新規雇用するということですか、それとも統併合されて余った人たちがそっちの方に行って働くというふうなことですか。</p>
事務局	<p>すみません、長大さん一般的な話として、もし今の調理委託の事業者と違うところがあった場合には、どういうふうな従業員の雇い方がされるのかお話をお願いします。</p>
(株)長大	<p>一般的に他市の事例をベースにお話させていただきますと、入札、募集をかける際に、その要件として既存の調理所、給食センター、今回でいいますと東センターと北センターの従業員の雇用を積極的に行ってくださいといった要件を記載していきます。その場合に実際に事業者様が選定された後に事業契約を結んで、今度従業員の方に説明会を行っていきます。今回新センターではこういった雇用条件でこういった時間帯でっていうことを説明していく。その中で実際に北センターと東センターで働いてる方たちが、私達も新センターで働きたいな、ちょっと今回は難しいかなっていう選択をさせていただいて、その中で雇用契約という形を結んでいくっていうことが多くあります。なので実際に全ての従業員の方が行くっていう場合と、全く違う方たちが雇用されるっていう場合もございますので、そのあたりは自治体によって、または従業員の方たちのお考えによって違うと思います。以上です。</p>
会 長	<p>業務内容はずいぶんと変化していくわけですよ、オートメーション化するような場合もあるということですが、雇用面で既存センターとのバランスっていうふうな、議題とはちょっと話がずれるかもしれませんが、調和がとれていくような方向に持っていくんでしょうか。</p>
(株)長大	<p>おそらく、例えば給料が一番大きいのかなと思いますけれども、その辺りは今までの給食センターで働かれたときのお給料と、実際に事業者様が選定されたときにその事業者様が何か設定される金額をすり合わせていくというか、あとは条件ですね、福利厚生面の面だったり、例えばお子様がいらっしゃる方であれば、奥様は子が学校に行ってから働き出して終わって、みたいな時間帯の雇用をしたりとか、いろんな条件があるので、そういったところもすり合わせていくっていうことになると思います。</p>
会 長	<p>わかりました。他にご質問はございますか。</p>
〇〇〇委員	<p>質問ではないんですが、安全で美味しく楽しい給食のための食器具、新センターの食器具は西センターと同等同種で調達、箸を給食センターから提供ということで、大変ありがたいです。以前、私は西センター所管の学校に勤務していて、現在は北センター所管の中学校なのでそうでもないですが、特に小学校低学年の子どもたちが、西センターと同じ食器具になるということは担任の見守りの負担の面からありがたいです。</p>
会 長	<p>他に御意見御質問はございませんか。</p>
〇〇委員	<p>予算規模 100 億を超えるということで、大きい事業になると思いますが、仮に入札と</p>

	<p>いうことになれば企業の資本力とか財務指数はかなり安定した企業が求められると思うんですけども、八戸とか青森県に縁もゆかりもない企業が入札して参入してくる可能性もあるということですのでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>これから来年度、PFI をやることになったときに実施要項や募集要項を定めていくんですけども、その中で地元の企業とかも応募できるようなものを要綱の中に入れてやるということを他の自治体でもやってる事例がありますので、そういった方法を見ながらこの要綱の方を考えていきたいなというふうに思います。</p>
〇〇委員 会 長	<p>できれば地元の経済が潤うような工夫をしていただければと思います。 他に御質問ありますか。</p>
	<p>それでは他に御質問が無いようですので、最初にご説明申し上げました通り八戸市新学校給食センター整備基本計画（案）について承認することとしてよいか多数決をしたいと思います。承認することに賛成の方挙手をお願いします。ありがとうございます。それでは、八戸市学校給食審議会規則第4条第3項に出席委員の過半数をもって決すありますので、賛成多数により承認として答申いたします。</p>
	<p>次にその他の意見として答申に付け加えたい事項などございますか。</p>
〇〇委員	<p>採択がされましたもんですから、速やかに計画を進めていただきたいと思います。今、北センターの状況、現状、非常に悪いです。年に1回検査にお伺いしておりますけれども、やはり早急な改修っていうのが本当に迫っている状況でございますので、今回の決議を受けまして本当に速やかに、計画そして設計を進めていただいて、予定よりもできれば半年、1年でも早く、給食のサービスが実施できるようにしていただくよう付け加えていただきたいと思います。西センターの場合は1年程遅れて、やはりお金の面もそれは確かではございますが、小さな部分での変更というところにあまり時間をかけないでって言ったらかわいいですけれども、設計の部分ですね、今回は今までと違って一連の流れで進むという計画、事業案を採択しておりますので、そういったことから計画通り進むようによろしくお願ひしたいと思います。以上です。</p>
事務局	<p>事務局の春日です。今の〇〇委員の御意見ですけれども、記載をするにあたって表現を確認でございます。速やかに給食センターの整備を進めることといった趣旨でよろしいでしょうか。</p>
〇〇委員	<p>はい。</p>
事務局	<p>承知いたしました。</p>
会 長	<p>それでは今の意見を受けまして委員の皆様へ伺います。賛成の方は挙手をお願いいたします。</p>
	<p>はい、それでは八戸市学校給食審議会規則第4条3項に出席委員の過半数をもって決すありますので賛成多数により明記することといたします。</p>
	<p>他に御意見御質問ありませんか。</p>
	<p>それでは可決されました付帯事項は、答申書に明記した上で、教育委員会へ提出することといたします。細かい文言に関しては会長一任ということで了承いただきたいと思ひます。</p>

事務局	<p>それでは案件 3、報告事項、八戸市学校給食基本計画（令和 6 年度改定版）改正について事務局から説明をお願いします。</p> <p>はい。着座のまま説明いたします。資料 4 および 5 をご覧ください。八戸市学校給食基本計画（令和 6 年度改定版）改定について御報告申し上げます。資料 4 ですが、本件については前回会議で皆様から意見聴取しまして、改定いたしました。その御報告でございます。1. 改定の目的については新センター整備に係る整備基本計画の策定の必要性があるため、これまでの八戸市学校給食基本計画の整備に係る部分を切り離して、先ほど説明のあった整備基本計画に盛り込み、学校給食の理念や基本方針については、この計画の方に残し、これまでのものを踏襲したものという内容で改めたものです。2. 基本計画の体系については御覧の通りです。3. 計画は資料 5 の通りです。私からは以上です。</p>
会 長	<p>只今の説明について御意見御質問はございますでしょうか。無いようでございますので、これをもちまして全ての案件が終了となります。事務局よろしくをお願いします。</p>
進行役	<p>それでは、以上をもちまして、令和 6 年度第 3 回学校給食審議会を閉会いたします。本日はお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございました。</p>